

ダイヤモンドNV量子センサの 基本原理と応用・最新動向

1名分料金で
2人目無料セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250682>

- ◆日時: 2025年06月30日(月) 13:00~16:00
- ◆【アーカイブ配信受講: 7/1(火)~7/8(火)】を希望される方は、
⇒こちら <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250682A> からお申し込み下さい。
- ◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から
 ・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。
 ・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 准教授 博士 勝見 亮太 氏

【講演の趣旨】

量子力学の原理をセンシングに活用することで、高感度なセンシングを可能にする「量子センサ」が実現できる期待されています。とりわけダイヤモンド中に形成される点欠陥であるNV(窒素-空孔)センターは、優れた光学・スピン特性を有しており、磁場や電場、温度など、様々な物理量を高感度にセンシングする新しい固体量子センサとして注目されています。本講演では、ダイヤモンド中NVセンターを用いた量子センシングについて、NVセンターやセンシング技術に関する基礎知識や、最先端の研究動向について幅広く解説します。また本講演では、将来のさらなる高感度化やデバイス化のための技術進展についても解説します。

【プログラム】

- 量子センサの基礎知識
 - 量子センサとは?
 - ダイヤモンドとNVセンター
 - ダイヤモンドを用いた量子センサ
 - 原理
 - 特徴
- ダイヤモンドNV量子センサの研究動向
 - 他の量子センサとの比較
 - 単一NVセンターを用いた量子磁気センサに関する研究動向
 - 集団NVセンターを用いた量子磁気センサに関する研究動向
 - NVセンターを用いたその他のアプリケーション
- ダイヤモンド量子磁気センサの課題: 高感度化
 - 検出感度を律速するファクター
 - 検出効率
 - コヒーレンス時間
 - 発光コントラスト
 - 読み出し手法
- ダイヤモンド量子磁気センサの社会実装に向けた動向
 - デバイス応用に向けたコンパクト化・プローブ化
 - 最先端技術としての応用例
- おわりに

『ダイヤモンド量子センサ』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒ LIVE受講 アーカイブ受講

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>